

福井剣連第 156 号

平成27年3月18日

地区剣道連盟会長 様  
団 体 長 様

(一財)福井県剣道連盟  
会 長 岩崎 貞夫  
(公印省略)

「形の講習会」 「剣道段位審査会」 の開催について

標記講習会及び段位審査会を下記のとおり、開催致しますのでご案内申し上げます。尚、貴管下会員各位、学校、団体等への連絡方について宜しくお願い申し上げます。

また、段位審査会申込みに当たっては、県剣道連盟が作成した新しい申込用紙をコピーまたは印刷して使用していただきますようお願いいたします。

記

## 1 形講習会

(1) 日 時

平成27年4月19日(日) 午前10時から

※受付後、9時30分までに指定道場に集合して下さい。

事前説明を致します。

(2) 場 所

初段～五段

福井県立武道館

福井市三ツ屋町8-1-1

TEL 0776-26-9400

(3) 申込み

当日9時から受付

(4) 受講料

初段 2,000円 弐段 2,600円

参段 3,200円 四段 4,000円

五段 5,000円

1年以内の審査で、形審査不合格となり、再受審前に形講習を再受講する場合、形講習料は1回に限り無料とします。

(5) 携行品

稽古着、袴、木刀(四・五段は小太刀も必要)  
筆記用具、昼食

## 2 剣道段位審査会

(1) 日 時

平成27年5月10日(日) 午前10時から

※受付後、9時30分までに指定道場に集合して下さい。

実施要領を説明します。

**武生スポーツへの申し込み締め切り**

**4月22日(水) 厳守でお願いします。**

(2) 場 所

初段～五段

福井県立武道館

福井市三ツ屋町8-1-1

TEL 0776-26-9400

(3) 申込み締切(県連々切) 平成27年4月27日(月)まで

各地区で決められた々切を厳守して下さい。(期日厳守)

必ず受審料を添えて申し込みして下さい。

☆郵便番号を必ず記載のこと

☆段級の取得年月日を確認のこと

☆学校名・学年を必ず記載のこと

**☆初段受審資格が改正されましたので、**

**初段受審者の年齢確認をお願いします。**

**年齢基準は審査日前日とします。**

(4) 受 審 料

初段 2,400円 弐段 3,000円

参段 4,000円 四段 5,000円

五段 7,000円

☆受審者のうち、形審査で不合格となった者は、1年以内に形審査を1回だけ再受審することができます。その際には、当該審査料の半額を納入するものとします。

再受審者 受審料 初段 1,200円 弐段 1,500円

参段 2,000円 四段 2,500円

五段 3,500円

(5) 携 行 品 稽古着、袴、木刀（四・五段は小太刀も必要）  
筆記用具、昼食  
尚、稽古着、袴で、学校名等の表示がある  
ものは着用しないこと。

(6) 審 査 順 序 実技審査  
形 審 査  
学科審査

(7) 受 験 資 格

① 剣道称号・段位審査規則「第16条」（平成12年4月1日施行）  
段位を受審しようとする者は、加盟団体の登録会員であって、  
次の各号の条件を満たさなければならない。

- 1 初段 一級受有者で、満13歳以上の者。
- 2 弐段 初段受有後1年以上修業した者。
- 3 参段 二段受有後2年以上修業した者。
- 4 四段 三段受有後3年以上修業した者。
- 5 五段 四段受有後4年以上修業した者。

(8) 学科試験問題（別紙）

平成17年8月31日 第1版 第1刷 発行  
財団法人 全日本剣道連盟  
「剣道学科審査の問題例と解答例」  
から各段2問出題します。

お問合せ先

福井県剣道連盟事務局

岡田

T E L 0776-28-6616

F A X 0776-28-6616

【別紙】

## 学 科 試 験 問 題

### 初 段

- 1 「使ってはいけない竹刀」とは、どのような竹刀ですか説明しなさい。
- 2 「しかけていく技」を1つあげ、簡単に説明しなさい。
- 3 「基本打突や技の練習」で気をつけることを述べなさい。

### 弐 段

- 1 「竹刀各部の名称」について書きなさい。（その1）
- 2 「切り返しで気をつけること」を述べなさい。
- 3 「残心」について説明しなさい。

### 参 段

- 1 「剣道の理念」について書きなさい。
- 2 「打突の好機」について説明しなさい。
- 3 日本剣道形で使われている「五つの構え」について書きなさい。

### 四 段

- 1 「指導者としての心構え」について述べなさい。
- 2 「刃筋」について説明しなさい。
- 3 「審判員の心得」について説明しなさい。

### 五 段

- 1 「剣道の理念および剣道修錬の心構え」について述べなさい。
- 2 「懸待一致」について説明しなさい。
- 3 「審判員の心得」について述べなさい。